

## 《Lesson 3》 be 動詞の否定文: 主語 + be 動詞 + not + ○○.

### 【be 動詞の否定文: 基本的な形】

主語 + be 動詞 + not + ○○.

「主語は○○ではありません」

「主語は○○ではありませんでした」

\*am 以外の be 動詞は「be 動詞 + not」を短縮させることができる。

are not = **aren't**    is not = **isn't**    was not = **wasn't**    were not = **weren't**

<例>

- (1) 私はお金持ちでは**ありません**。 → I **am not** rich. (I amn't rich = ×)
- (2) エリは先生では**ありません**。 → Eri **is not (isn't)** a teacher.
- (3) この机は安く**ありませんでした**。 → This desk **was not (wasn't)** cheap.

### 【be 動詞の否定文の作り方】

- (1) be 動詞の「**肯定文**」を作る。
- (2) be 動詞の後に **not** を足す。(be 動詞と not を短縮させることも可)

<例 1: エリは先生ではありません>

1. be 動詞の肯定文を作る。 → エリは先生です。

Eri is a teacher.

2. be 動詞の後に not を足す。(be 動詞と not を短縮させることも可)

Eri is **not** a teacher. ( Eri **isn't** a teacher. )

<例 2: この机は安くありませんでした>

1. be 動詞の肯定文を作る。 → この机は安かったです。

This desk was cheap.

2. be 動詞の後に not を足す。(be 動詞と not を短縮させることも可)

This desk was **not** cheap. ( This desk **wasn't** cheap. )

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。